

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	青山学院女子短期大学	整理番号	2-2-039
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	外国人教員による英語のコーディネート授業		
申請単位	学科単位		
申請担当者	加納 孝代		
<p>(取組の概要)</p> <p>青山学院女子短期大学英文学科では 1 年次に Introductory College English、2 年次に Intermediate College English という必修科目を置いている。いずれも教材・副教材・宿題・試験問題等の内容を統一し、週単位で進度を揃える「コーディネート授業」である。授業は英語のみで行われ、12 名の英語のネイティブ・スピーカーの教員チームが担当する。教材もそのチームが自主作成し、3 年をめどに全面改訂する。2 年次の授業は、現代世界の重要課題を論じた文章を読み、要約を作り、議論をし、自分の意見を書き、クラス全員の前でプレゼンテーションをするという形進む。2003 年度のテーマは「Health」「Rich and Poor」など 4 種である。1 年次の授業では 2 年次でのその授業に取り組む基礎力を育てるために、英英辞書の活用、パラグラフ・ライティング、多種で多量の英文を読むスピード・リーディングなどの能力を、週 3 回の少人数クラスで徹底的に訓練している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>キリスト教主義に基づいた教育と学問研究という建学の理念のもとに、国際理解を深め英語力を高める取組であり、10 年以上英語教育の経験のあるネイティブ・スピーカーによる語学のコーディネートがされ、「読む、聞く、書く、話す」の 4 技術が総合的に訓練されることにより、学生達にとって確実に語学力のつく授業です。日本人の語学教育を向上させるすぐれた教育方法であり、小、中、高の英語教育を見直すことにも大きくつながります。国際社会での日本のあり方を考える面でもぜひ定着させたいプログラムです。</p>			